関係者各位

2026年08月10日発表
特定非営利活動法人マングローバル
代表理事　岡田精一郎

JAXA「全球マングローブマップ Ver4.1」に弊社データセットを採用

このたび、2026年8月3日に宇宙航空研究開発機構（JAXA）より公開された「全球マングローブマップ Version 4.1」に、当社がこれまで調査してきた日本国内のマングローブ分布データが採用されました。
当社では鹿児島県・沖縄県をはじめ、静岡県南伊豆町や熊本県沿岸部など、衛星データだけでは把握が難しい小規模のマングローブ自生地（植樹地点も含む）についても現地調査を行っており、これらの分布情報もJAXA プロダクト Version 4.1（GMW_10_East_Asia）で網羅的に採用されています。

＜全球マングローブマップとは＞
JAXA の「全球マングローブマップ」は、衛星観測データを基盤に、複数のデータを組み合わせて世界のマングローブ分布を把握し、その経年変化をモニタリングするためのデータです。世界各国のマングローブ面積の変化を把握できることから、国際的な環境モニタリングにも活用されており、2019年には国連環境計画（UNEP）によって、SDGs の指標 6.6.1 における公式データとして採用されています。
本データセットは、JAXA の ALOS 利用推進プロジェクトページから無料でダウンロードできます。ダウンロードにはユーザー登録が必要で、登録にはメールアドレスが必要です。



＜参考リンク：JAXA 公式サイト＞　＊プロダクト概要に当社ウェブサイトが参照先として掲載されました。
https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/dataset/gmw_j.htm